

東京学芸大学附属大泉小学校
令和3年度研究発表会 開発研究5年次

新教科『探究科』の創設

〈教科の枠をこえる学習の充実〉



6領域

7つの
対象を捉える
考え方

週5~6時間

個の活動

令和4年

1月29日(土)

指導助言
千葉大学特任教授
天笠 茂 先生



参加費無料

令和3年

令和4年

11/30
(火)

1/13
(木)

1/24
(月)

1/28
(金)

1/29
(土)

申し込み期間



提案・授業動画視聴

ご意見・ご感想入力期間

研究発表会

申し込みについて

- 本校 HP または、上記の QR コードからお申し込みください。
- お申し込みいただいたメールアドレスに、資料や動画、Zoom 用の URL 等をお送ります。

提案・授業動画視聴期間について

- この期間に全体理論の提案と各学年部の提案に関わる動画や資料をご覧いただけます。

ご意見・ご感想入力期間について

- 全体理論提案や各学年部提案に対してのご意見やご感想を入力いただけます。
- 研究発表会当日の協議会では、こちらにご入力いただいたご意見をもとに協議を進めていく予定です。ぜひ、忌憚のないご意見をお聞かせください。



東京学芸大学附属大泉小学校
〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-22-1
TEL:03-5905-0200 FAX:03-5905-0209
Email: kikunoko@u-gakugei.ac.jp



8:45	9:00	10:20	10:40	12:00	13:00	14:20	14:40	15:30
	全体提案		協議会①	昼食	協議会②		指導助言動画	謝辞

新教科 『探究科』 の創設

探究科における「6つの領域」
グローバル化する世界を捉える6つの見方

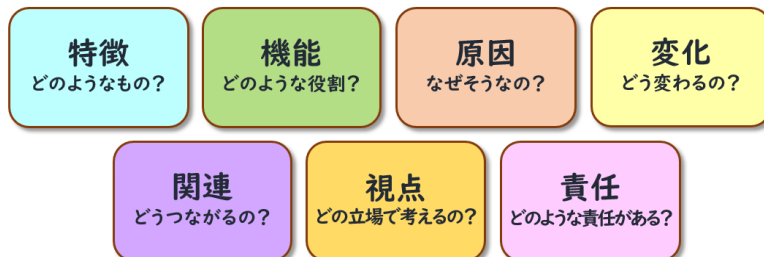
世界のどの地域でも、どんな背景をもつ人にも求められると考えられる、普遍的な見方です。
探究科では、各学年が年に6単元、それぞれの領域の学びを深める単元を実施しています。



7つの「対象を捉える考え方」

問いを生むための、児童の探究を支える考え方

探究科は個の活動を重視します。その際、自分で問いを見出すことが欠かせません。その問いに対して、自ら探究を発展させていくことを目指しています。その際に児童が活用するのが、7つの「対象を捉える考え方」です。



協議会① 【10:40 ~ 12:00】

1年部会 個の疑問を大切に低学年探究科の学習過程

「自分で選び、自分で決め、自分らしく学ぶ」子供たちの創造的な学びの姿を通して、見つける楽しさと次時への意欲を高める児童の育成について提案いたします。



公開授業（事前ビデオ視聴）

「わたしとかぞのかんけい」 **A領域** 機能 責任 関連

家族一人一人に役割があり、支えあう

2年部会 個人の探究活動を認め 支える 教師の役割

十分な時間と自由な素材選択のなかで、自己評価の観点をたよりに、教師と子どもが共に探究活動を創造していく姿と、そのために有効な手立てについて提案いたします。



公開授業（事前ビデオ視聴）

「生活の中にある自然や科学の仕組みを見つけよう」 **D領域** 機能 原因 関連

自然や科学のしくみは人の生活に影響をあたえる

3年部会 教科の枠をこえる パフォーマンス課題

子どもが様々な「立場」に立って考えることができるパフォーマンス課題を教員が設定し、学習を進めました。その課題に向き合う中で、子どもが教科の枠をこえて学んでいく姿を提案いたします。



公開授業（事前ビデオ視聴）

「3つの立場から魅力を伝えよう！」 **E領域** 機能 視点 関連

生産と販売と消費のつながりは、私たちの生活をより豊かにしている

協議会② 【13:00 ~ 14:20】

4年部会 自ら問いを作り、自分の学びを調整できる学習過程の工夫

7つの「対象を捉える考え方」を活用することによって、学習過程を自ら選択し、探究学習を進めることができる児童の育成について提案いたします。



公開授業（事前ビデオ視聴）

「学校生活を見直し、全校に発信！」 **C領域** 働き 視点 責任

私たちは、メディアを通して対話している

5年部会 学びに向かう力・人間性を育成する探究科の学び

自ら問いをもち、友達と支えあいながら見通しをもって追究する中で、自分の学びを調整しながら考えをつくりあげていく。令和の時代に求められる学習の在り方を共に考え共有しませんか？



公開授業（事前ビデオ視聴）

「わたしたちの行動と地球のかかわり」 **F領域** 原因 責任（選択）

人間の影響が、地球を急速に変化させてきたことに疑う余地はない

6年部会 総合やESDと何が違うの？F領域の探究科

本実践を通して、本校の探究科と総合的な学習の時間やESD教育との違いを一緒に考えませんか？



公開授業（事前ビデオ視聴）

「エコアクションを世界に」 **F領域** 機能 責任 視点

同じ地球人として、資源を共有しながら生きていく